

KONOMA

# 木の間通信

—小さな恋のものがたり—

## みつはしちかこの世界 展

2016年 7月16日(土) ~ 9月25日(日)

●会場：萬鉄五郎記念美術館

漫画家みつはしちかこの描く『小さな恋のものがたり』は、女子高生チッチとイケメンのサリーが繊りなす淡くせつない恋心を描いた作品です。二人の純粹な片思いの物語は、青春の思い出として多くの読者の共感呼び、画中に添えられた心に残る詩も大きな魅力となり、今なお愛されています。その『小さな恋のものがたり』を中心に、原画300点により漫画家みつはしちかこの世界をたどる展覧会です。

### みつはしちかこ握手会

●7月17日(日)午後2時から

●9月4日(日)午後2時から

\*整理券が必要です(各回30名)。

詳しくは美術館までお問い合わせください。

●休館日

月曜日(月曜が祝日の場合翌日)

●開館時間

8:30 ~ 17:00(入館は16:30まで)

●入館料

一般 600(550)円

高校・学生 350(300)円

小・中学生 250(200)円

\*( )内20名以上団体料金

みつはしちかこ《小さな恋のものがたり》第25集表紙画)

1991年 水彩・紙



# 萬鉄五郎を解いて、見る。展

— 観る・読む・語る 萬鉄五郎 —

2016年 4月23日(土) ~ 7月10日(日)

●会場：萬鉄五郎記念美術館



萬鉄五郎《丘のみち》 1918年 油彩・画布 萬鉄五郎記念美術館蔵

- 休館日 月曜日(月曜が祝日の場合翌日)
- 開館時間 8:30~17:00 (入館は16:30まで)
- 入館料 一般500(450)円、高校・学生350(300)円、小・中学生200(150)円 ( )内20名以上団体料金

日本近代を代表する画家・萬鉄五郎ですが、一般の美術ファンからは「難しい」「よくわからない」と敬遠されがちです。そこで「私の好きな萬鉄五郎、この一点」というテーマで、美術関係者や著名人にエッセイをお寄せいただき、それを手掛かりに萬本人や作品へ親しみをもってもらえるような展覧会を開催いたします。様々な角度から語られる萬やその作品に触れ、魅力を感じていただければと思います。

萬鉄五郎記念美術館

## 館長講座 — 絵画の見方とその歴史 — V

- 期日 第1回 6月18日(土) 13:30 ~ 15:00 日本に惚れた《ゴッホ》
- 第2回 7月30日(土) 13:30 ~ 15:00 浮世絵の影響を受けた《ゴッガン》
- 第3回 8月27日(土) 13:30 ~ 15:00 フランスが惚れた《北斎》
- 場所 花巻市東和図書館 視聴覚室 (花巻市東和町安俵6区90)
- 講師 萬鉄五郎記念美術館館長 中村光紀 ●受講無料 ●各回先着40名
- 問合せ・申込み先 萬鉄五郎記念美術館 (電話 0198-42-4402)

### 喫茶「八丁土蔵」

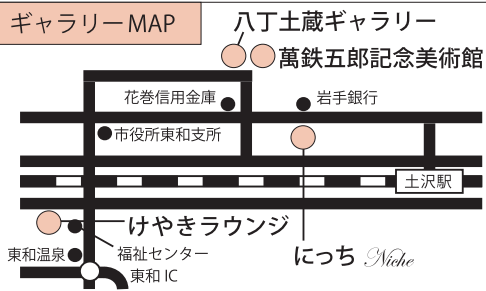


萬鉄五郎の本家「八丁」にあった土蔵を移築復元した、ギャラリーと喫茶スペースです。自慢のオリジナルコーヒー「蔵」「八丁」を、ぜひ一度ご賞味ください。 営業時間：10:00 ~ 16:00 (lo.15:30)

## 美術の街「土沢」 ギャラリー情報

萬鉄五郎記念美術館とあわせて「美術の街」土沢めぐりをしてみてはいかがでしょうか。

### ギャラリーMAP



萬鉄五郎記念美術館

## 八丁土蔵ギャラリー

花巻市東和町土沢 5-135 萬鉄五郎記念美術館内

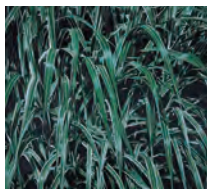
9:00-16:30 月曜休(祝日の場合は翌日) 入場無料

iwate コンテンポラリーアート vol.5

## 五十嵐 彰 展

4/23(土) ~ 7/10(日)

昨年11月急逝した花巻市東和町在住の画家・五十嵐彰の回顧展。



iwate コンテンポラリーアート vol.5

## 金野 圭助 展

7/16(土) ~  
9/25(日)

一関市大東町摺沢出身。横浜や岩手の風景画。



## Gallery Space けやきラウンジ

花巻市東和町安俵6-90 東和図書館内 tel.0198-42-3205

10:30~18:00 (最終日は16:00まで) 入場無料

## カミムラ コーイチ =シリーズ場= 展

6/1(金) ~ 6/30(木)

《2016場-40》水彩・ボールペン



## 片方悠依 展

7/1(金)  
~ 7/31(日)

期待の若手。その色彩、感性お楽しみに!



世界の雑貨とギャラリー *にっち Niche*

花巻市東和町土沢8-115 こつぼら土澤1階

10:00~17:00 火曜定休 入場無料

## 夢の庭づくり 関戸 勇 写真展

6/8(水) ~ 6/20(月)

14歳のときから一人で庭づくりを始めて60年。全国の園芸ファンが注目する庭が、北海道滝上町にあります。園主・高橋武市さんの魅力と、『陽殖園』の庭の美しさに惚れ込んだ、路傍の写真師・関戸勇の写真展。



### 一本松

萬鉄五郎が晩年の茅ヶ崎時代に多く描いた水墨画(南画)に、一本松を描いた『松図』(1925(大正14)年頃・当館所蔵)がある。この松は萬が住んだ湖南周辺にそびえ立つかなり大きな松を描いたものと思うが、かつて萬の弟子であった洋画家原精一が長く愛蔵していた。手前の丘陵が重なり合い、その高い左側の対角線に二つの島、その間に松の枝が垂れ下がり構図を安定させている。いずれにしろ真ん中にたった一本の松だけで「絵」になっているのがすごい。波のコミカルな表情など、萬特有の筆致で見るものを魅了する。

「日本は、松のくにである」(司馬遼太郎)。先の東日本大震災で、陸前高田の松原が、大津波に呑み込まれ、倒れず残った「奇跡の一本松」が復興のシンボルとなった。かつて高田松原は防潮林として七万本の松林があり「日本百景」の景勝地として賑わったが、いまは跡形もない。その一本松の命を継いだ苗木が育てられ、このほど震災の象徴として鳥根県の出雲大社まで送られて植樹されたという。

モネもまた一本松を描いている。しかもまったく同じ図の二点で、愛媛県立美術館蔵とロンドンのコートールド美術館蔵の『アンティープ岬』(1888年)である。画面の真ん中に一本の木を描いた絵は、ヨーロッパではまったく新しい構図であった。

また、風景画に松などを多く取り入れたセザンヌも一本松を描いた『大きな松』(1892〜96年・サンパウロ美術館)がある。南仏の青空のもと赤っぽい大地に立つたくましい松だけが、画面いっぱい堂々と描かれている。そのほかセザンヌは、一本の松を真ん中

に、背景にサントヴィクトワール山を描いたものなど、手前の木から対象物を望む作品が多い。

西欧の伝統を崩したこれらの構図は、北斎、広重の影響が大きい。浮世絵版画に初めて風景画を描いた北斎が『富岳三十六景』で前面に大きな木や構造物を配して遠景に富士山を描いた構図を多用している。それを受け継いだ広重が『名所江戸百景』でヨーロッパの画家をさらに驚かせた。

萬鉄五郎記念美術館長 中村光紀



右/萬鉄五郎《松図》 1925年頃  
紙本墨画 萬鉄五郎記念美術館蔵

左/クロード・モネ《アンティープ岬》  
1888年 油彩・画布 愛媛県立美術館蔵



萬鉄五郎記念美術館 岩手県花巻市東和町土沢 5-135 Tel.0198-42-4402 8:30am. ~ 5:00pm.

yorozu00@cocoa.ocn.ne.jp <http://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/501/503/p004177.html> 月曜休館 (祝日の場合その翌日)

発行人/東和町土沢商店街商店会連絡会会長小原茂明